

令和4年度「教職員視察ウィーク」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は美術館事業へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。
ご挨拶。

さて、今年度も「教職員視察ウィーク」を下記のとおり開催いたします。**市内学校園職員**を対象に、各展覧会ごとに定める一定期間を、**観覧無料の視察期間**とするものです。教育に携わるみなさまに、美術館や展覧会に対する理解を深める機会とするとともに、普段の鑑賞学習や、校外学習での美術館活用の参考にさせていただき、モニターアンケートにご協力いただくことで、美術館としても学校現場の声をお寄せいただきたく、積極的なご利用をお待ちしています。

なお、学校園団体引率に伴う**下見・引率**の場合は、時期を問わず**観覧料を免除する制度**もごさいます（所定の**減免申請書**をご提出ください）。そのほか利用に伴うご相談、ご要望等も随時受け付けておりますので、ご連絡いただけましたら幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

【視察ウィーク対象展および期間】

※それぞれの会期直前にも文書にてご案内いたします

① 4月24日（日）～5月1日（日）

「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022」 &「コレクション展Ⅰ Colors!/ えほんのひとびと」

⇒世代を超えて愛される絵本を数多く生み出してきた福音館書店の月刊絵本「こどものとも」。宮城県美術館所蔵の絵本原画コレクションから 35 作家、約 50 タイトルの貴重な原画を展示します。



山崎百合子「ぐりとぐら」
26-27 頁原画
宮城県美術館蔵

② 7月17日（日）～24日（日）

「マン・レイと女性たち」 &「コレクション展Ⅱ シュルレアリスムのひろがり / 涼を愛でる」

⇒20 世紀を代表する芸術家マン・レイ（1890-1976）。写真家である一方で、オブジェや映画の制作などその創作は様々な領域に及びました。本展では彼の芸術において重要なテーマとなる「女性」に焦点を当てその全貌に迫ります。

③ 11月6日（日）～13日（日）

「新潟映像祭」 &「コレクション展Ⅲ 新収蔵品から / 彫刻の回廊」

⇒アーティストがとらえた新潟の映像を所蔵品をまじえて特集展示。この地で育った者ならではの眼差しと、別の土地からやってきた者が現地を歩いて見出した新鮮な光景とが交錯します。



阪田清子《対岸について》2016年
新潟市美術館蔵

④ 12月4日（日）～11日（日）

「リアル（写実）のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと」 &「コレクション展Ⅲ」

⇒明治期に油彩画法に出会った画家はその写実性に魅入られました。ではそれ以前の日本に「写実」はなかったのでしょうか？ 本展では、日本の写実のルーツを、現代作家の多様な表現に探ります。



高橋由一《読本と草紙》1874-75 年 金刀比羅宮蔵